

本郷学園同窓会の新会長就任挨拶文

先般の2026年6月20日午後3時からの本郷学園同窓会定期総会において参加理事及び会員の承認をもちまして5期と2年間の17年間会長を務めていただいた南谷修前会長の後任として本郷学園同窓会会長に残任期間1年間、就任致しました砂泊照男と申します。

どうぞよろしくお願い致します。

私は昭和43年4月入学、昭和46年3月卒業の高23回生で今年74歳になります。令和3年度、西暦2021年度本郷学園同窓会理事に就き5期目を終了して今期から6期目になります。高校卒業後、駒澤大学法学部法律学科に入学昭和50年3月に卒業した後東証一部資材商社ナイスグループ(株) (東京プライム8089) に入社し6年後の28歳退職、心機一転住宅デベロッパーに入社10年間勤務した後退職し1989年平成元年独立の為法人の登記を申請し不動産企業を立ち上げ現在に至ります。会社社屋は縁がありまして本郷学園と同じ豊島区駒込にあります。私の会社は駒込1丁目にあります。

本郷高校の生徒時代は3年間テニス部に在籍していました。入部当初は25名程度居た部員が翌々年の昭和45年には余程練習が厳しかったのか部員4名になり、やっと2組のダブルスが組め、ダブルス2戦シングル3戦計5戦の学校対抗戦で、私自身キャプテンとして昭和45年東京都高等学校総合体育大会(都大会)において団体戦第三位入賞を果たすことができました。優勝ではありませんが4名の部員全員の力の結集の成果であったと懐かしく誇らしく思える経験を本郷高校でさせて頂きました事は56年前にさかのぼりますが今でも鮮明に覚えております。その賞状は顧問の先生から君が保管していなさいと預り大切に飾っています。本郷学園の教育目標の強健・厳正・勤勉ですが、私なりに高校時代の3年間のご指導とその経験が私の人生の糧になりました事は間違いありません。

兄は高18回生で銀友NO53記事を掲載した社員50名程度の会社経営者です。甥っ子は高46回生で彼はラクビー全国大会で花園に二度出場している年代で二人とも本郷高校の卒業生です。

私自身多少背伸びしますが出来る事に限界があります。

これからも本郷学園の益々の隆盛と同窓会の継続発展の為に同窓会員又、理事の皆様及び運営委員会の方々の力を結集・参加のもと共に有言実行により進めて参りたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。

2026年6月25日

高23回生 砂泊照男